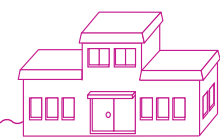


腎臓病と肝臓病の専門病院として高度で最高水準の医療と、地域に密着した医療を提供する増子記念病院（一般病床102床）。新館建て替え、旧館改築が完了し、創立70周年の節目を迎えるなか、2014年に着任した両角國男理事長は、「腎臓病総合医療センター」をビジョンに掲げています。スペシャルリスト集団が結束し、最高水準の腎臓病医療・ケアを追求しています。



おじゃまします

フロントランナーとして 最高水準の腎臓病医療・ケアを追求

あらゆる腎代替療法を担う 腎臓病総合医療センターへ

1946年、増子病院として開院し、黎明期から地域の透析医療を牽引してきた増子記念病院。現在は、慢性腎臓病（CKD）の外来患者さんや、分院の増子クリニック昂（透析ベッド数100台）と合わせて約650人の透析患者さんを受けもち、大学病院など地域の病院や診療所と連携する、腎臓病治療の中核病院の役割を担っています。

そうしたなか、2014年に着任した両角國男理事長は、蛋白尿から腎移植後まで、高度で最高水準の腎臓病の診断と治療を担う「腎臓病総合医療センター」のビジョンを構想。

「腎臓病を悪化させない、治す医療の工夫や、透析患者さん、

家族の多様なニーズに対応できる、あらゆる腎代替療法、療養支援を行う体制の整備を進めています」と語ります。

山崎親雄前院長（現・増子クリニック昂院長）が築いてきたチーム医療の精神が息づく同院では、医師とコメディカルが緊密に連携して最高水準の医療・ケアに取り組んでいます。

多様な治療法に対応する スペシャルリスト集団を育成

同院は、腎生検による腎臓病診断、病態解析を得意とするほか、血液透析、オンラインHDF、アフエレーシス治療、腹膜透析、在宅透析、移植など各種腎代替療法に対応しています。15年には長時間透析室（透析ベッド数16台）が完成し、長時間

透析、オーバーナイト透析も実施しています。

こうした多様な治療法に対応するため、コメディカルの教育にも力を入れています。

「看護師のラダー教育では、配属先にかかわらず、腎臓病の内容を厚くしています」と説明する今井眞里看護部課長。

平松英樹技士長も、「若手からベテランまで、高いレベルの知識と技術を目指して研鑽しています」と話します。

さらに、コメディカルのスペシャルリスト育成のため、10年に院内資格として、2年課程の「CKDエキスパートナース」を創設。両角理事長の下、対象職種を拡大したCKDエキスパートスタッフへと発展させ、現在、15人の修了者が誕生しています。

【Walk Around】



森弘卓延 腎臓内科部長



両角國男 理事長

平松英樹
診療技術部 臨床工学課
技士長

今井眞里 看護部課長

青木美典
医療福祉相談室・
地域医療連携室主任
社会福祉士山上孝子
腎移植科
認定レシビエント
移植コーディネーター
看護師朝倉洋平
臨床栄養課主任
管理栄養士小関裕二
リハビリテーション課課長
理学療法士

うちのここが
自慢です！
Here is a Pride

腎代替療法の選択肢をそろえ 患者さんに最適な治療法を提供する

同院は、腎臓病専門病院として、あらゆる腎代替療法に対応しています。そのなかから、オーバーナイト透析、在宅血液透析、腎移植科について、森弘腎臓内科部長と山上認定レシビエント移植コーディネーターに伺いました。

「2013年11月からオーバーナイト透析を開始しました。就業中の患者さんに限定し、現在、28人が利用しています。透析を8時間行ってもシャントに痛みがない、心筋梗塞や脳梗塞後1年以上再発がない患者さんを対象にしています。現在は、15年に完成した新館の長時間透析室で行っています。患者さんのプライバシーに配慮するとともに、看護師の目が行き届くようにパーテーションに工夫を施しました。在宅血液透析は、患者さんの希望で開始しました。ご家族の協力を得ながら、3か月の教育期間を経て実施に至っています。引きつづき、このノウハウを蓄積し、希望者に対応していきたいと考えています」（森弘部長）

「腎移植科の診察室は、患者さんの顔を見て話ができるように対面式の机を採用しました。腎移植患者さんの検査データは、オーダリングシステムを構築して管理しています。私は、医師の診察中に一緒に話を聞き、その後、腎移植相談室で患者さんからの相談を伺います」（山上認定レシビエント移植コーディネーター）

「腎移植科では、移植外科医と腎臓内科医が診察を行っています。その情報は、腎臓内科や泌尿器科と共有して、治療方針などの意思統一を図っています」（森弘部長）

オーバーナイト透析を行う
長時間透析室腎移植科の
診察室特定医療法人 衆済会
増子記念病院

●所在地／愛知県名古屋市中央区
竹橋町35番28号

●透析台数／145台
●透析関連スタッフ／70人
●透析患者数／395人